

守り受け継がれてきた鎌倉を 次世代につなぐ

家の前を電車が通る。生まれも育ちも鎌倉である私にとっては当たり前の風景でした。しかし、私が当たり前と感じている鎌倉は、これまでの鎌倉の人たちが築き、守り、受け継がれてきたものでした。そのバトンを次世代へ誇りをもってつなげたい。この想いで全力を注いできました。

コロナ禍を通して、当たり前のことが当たり前に行えること、一つひとつのことが素晴らしい価値があると実感しました。「当たり前」から生まれてくる「先入観」を取り払い見つめ直す。そして、世代や分野の境界をなくして、人と人のつながりを大切にいくことをこれからも目指していきます。

市民・行政・議会という問柄でなく、私たちのまち鎌倉をみんなで考え、目指し、守り創っていくことが様々な課題の解決につながっていくと考えます。「今」を大切に過ごし、未来を拓いていくため、これまでの取り組みだけでなく、新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出していくことも重要です。

一人ひとりが笑顔で楽しく、生きがいを見出せる、市民の暮らしを最優先に考えて、夢ある未来の鎌倉を創ってまいります。

日向慎吾



ひなた慎吾プロフィール

- 1983年6月9日 鎌倉市腰越生まれ(41歳)
- 1989年 モンタナ幼稚園卒園
- 1996年 鎌倉市立腰越小学校卒業(少年野球:腰越Z主将)
- 1999年 鎌倉市立腰越中学校卒業(野球部)
- 2002年 神奈川県立鎌倉高等学校卒業(野球部)
- 2006年 日本大学文理学部情報システム解析学科卒業
- 2006年 IT企業に就職。官公庁・金融系システムの開発・構築
- 2013年 鎌倉市議会議員初当選
- 2017年 鎌倉市議会議員2期目当選
- 2021年 鎌倉市議会議員3期目当選

副議長、議会運営委員長
新庁舎等整備に関する調査特別委員長
観光厚生常任委員長
議会広報委員長
一般会計予算等審査特別委員長 などを歴任

- ・腰越小学校同窓会(会長) ・鎌倉少年野球連盟(副会長)
- ・湘南早朝野球リーグ(顧問) ・鎌倉市ソフトボール協会(理事)
- ・鎌倉ガーディアンズ所属 ・腰越ソフトボールクラブ所属
- ・小動会 会員

応援しています。

日向さんは、これまで市民のために全力で行動されてこられました。特に環境問題、ごみ行政に対して、熱意を持って取り組み、戸別収集の実現にも尽力くださいました。地域に密着して、体を張って、人生をかけて働く日向さんのような方が鎌倉市には必要です。



鎌倉市長 松尾 崇

〒248-0033 鎌倉市腰越 3-23-7

TEL&FAX : 32-5889

e-mail : hinata.shingo@gmail.com

ホームページ : <https://www.hinata-kamakura.com/>

討議資料



安全、安心のまち。
みんなで創る鎌倉を目指して

無所属

鎌倉市議会議員3期

しんご
ひなた慎吾





「みんなで創る鎌倉を目指して」 5つの柱



主な実績と取り組み ▶▶▶▶▶▶▶▶ さらにステップアップ

1

まちづくり
夢ある未来の

- 多世代が交流し、住民同士をつなぐ憩いの場や機会、遊びの空間を充実させます。
- 誰もが希望を実現できるまちづくりを推進します。
- 高齢者助成の利用者間の公平性を踏まえた支援、サービスを拡充します。

- 「新庁舎等整備基本計画」及び「市庁舎現在地利活用基本構想」を策定。
- 誰もが一緒に楽しめる遊具を導入したインクルーシブ広場を開園。
- 令和7年4月から先行地区で、令和8年4月から全市で燃やすごみの戸別収集を実施。
- 新たな協働の仕組み「つながる鎌倉エール事業」を開始。
- 65歳以上の方が特典を受けられる福寿優待サービス事業を開始。

- 深沢のまちづくり、新庁舎の整備と市庁舎現在地の利活用を市民と共に考えて、取り組みを推進。
- 戸別収集の対象となる品目を拡大。
- 地域行事の保存と継承、さらには文化財指定への取り組みを強化。
- 高齢者活動支援サービスを充実させて利用者が使い道を選べる支援策へ。

2

子どもたちが
育つまち

- 産前産後ケアの充実に取り組み、こころに寄り添う環境を整えます。
- 地域で見守り、明るいあいさつが飛び交うまちにします。
- 一人ひとりの個性を生かし、自ら学び・考える力を最大限に伸ばす教育環境の充実に取り組みます。

- 小児医療費助成の所得制限を撤廃し、助成対象を18歳まで拡大。
- こどもや子育てに関する総合相談窓口「かまくらこども相談窓口きらきら」を開設。
- 妊産婦健康診査費用の補助拡充・産後ケア事業の自己負担額の軽減。
- 学びの多様化学校（不登校特例校）の設置。
- 腰越保育園を建て替え、「キディ腰越保育園」を開所し、新たに腰越子育て支援センターを併設。

- 待機児童の解消と「こども誰でも通園制度」を見据えた体制の整備。
- 一人ひとりに寄り添った教育環境を充実させ、インクルーシブ教育を推進。
- 学校体育館への空調設備設置に向けて早期に取り組む。
- 中学校部活動の地域連携・地域移行を進め、部活動を継続できる環境整備。

3

安全で安心の
まちづくり

- 災害時に命を守る防災・減災対策に取り組みます。
- 地域防災力の強化と充実を図ります。
- 市民生活と観光の調和した、オーバーツーリズム対策に取り組みます。

- 「防災リーダーオンライン研修」（1,500名が受講）を実施。
- ペット同行避難ガイドラインを作成。
- 子どもたちにわかりやすい表現にした「やさしいハザードマップ」を作成。
- 「無電柱化推進計画」の策定と「無電柱化条例」を制定。
- 鎌倉高校前駅の踏切付近に警備員を2人体制で配置し、防犯カメラも設置。

- 津波浸水想定区域内での避難対策の強化。
- 消防団を中核とした地域防災力の充実と強化。
- 無電柱化を進め、災害に強く美しい街並みを形成。
- 市民生活と調和した観光振興を図るため、宿泊税など観光税の導入。
- 「鎌倉市公共の場所におけるマナーの向上に関する条例」の規制強化を検討。

4

青い海と山の
緑を守る

- 海、山、河川、街のそれぞれで環境にやさしいまちづくりを推進します。
- 海洋ごみの問題に取り組み、環境の保全につなげます。
- 「ごみが落ちていない」キレイな街を目指します。(毎月の清掃活動を12年間継続中)

- 8市連携海洋プラスチックごみ削減キャンペーンの実施。
- 海水浴場の安全確保に向けて離岸流を検知するAIカメラを導入し、監視業務にドローンを活用。
- 海浜環境の改善等のため、海岸への下水道排水設備の敷設に向けて取り組む。
- 令和7年度から樹林管理事業を助成金制度へ移行し、竹の伐採も対象に追加。

- 誰もが楽しめる海水浴場を目指し、さらに年間を通じて海と人々がふれあえる憩いの空間づくり。
- 海岸への下水道敷設を各海水浴場に行い、海の環境を保全（令和7年度は由比ガ浜海岸の一部に敷設予定）。
- 地域の声をカタチにして、誰もが安心して遊べる公園の整備。
- 里山の風景と豊かな生態系を保全。

5

街のシステム
便利で快適な

- 行政情報を「伝える」から「伝わる」仕組みに整備します。
- デジタル格差の解消を根底に置き、誰もが暮らしやすい街に向けて取り組みます。
- 時間や場所に左右されることなく手続きや相談ができる「携帯する市役所」の実現を目指します。

- 観光スポットの混雑状況を可視化するマップシステムの運用を開始。
- 政策形成過程に幅広い市民の意見を反映させる仕組みとして、「市民参加型共創プラットフォーム」の整備・運用（西鎌倉地域プロジェクトなど）。
- 議会報告会をオンラインで開催。対面も継続。
- 市役所の窓口お呼び出し状況をオンラインで配信。
- 支所の窓口と本庁舎の専門部署とを繋ぐオンライン窓口の実証実験。

- 「市民参加型共創プラットフォーム」を様々な政策で運用し、幅広い市民意見を反映。
- 市民へのお知らせやイベント、観光・防災情報を提供する支援アプリの導入に取り組む。
- 健康づくりを推進し、健康アプリ『kencom』のさらなる活用とポイント交換商品の充実。
- 暮らしにまつわる手続きの案内とオンライン申請を拡充して行政手続きをスマートに。